

425

人形劇やワークショップで学ぶ防災・減災プログラムの開発

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 【平成 29 年】	4011101023372	その他事業者 【金融業、保険業】	東京都

1 取組の概要

- 平成 26 年から損害保険ジャパン日本興亜株式会社は CSR の一環として、子どもやその保護者を対象に、防災教育の普及啓発活動である「防災ジャパンダプロジェクト」を全国で展開している。
- 同プロジェクトでは、子どもたちが、楽しく遊びながら災害から自分自身、周囲の人を守るための知識や安全な行動を身につけてもらうことを目指す。人形劇などを使うとともに、体験型プログラムを重視している点に特徴がある。



▲ワークショップ活動の様子

2 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

損害保険会社社員による防災教育イベントを 50 回実施

- 同社は、平成 23 年の東日本大震災の折、延べ 3,000 名を超える社員が被災地で地震保険の支払いを行った。しかし、被災者の方でも地震保険に加入されていないことから、保険金を支払うことができないケースが多々あった。保険商品の提供のみならず、様々な防災・減災の支援などを通じて、強靱で持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいく必要があると考え、平成 26 年 10 月にイベントに参加する子どもやその保護者を対象に、防災教育「防災ジャパンダプロジェクト」を開始した。平成 28 年 10 月末時点で、累計開催回数約 50 回、累計参加者数約 5,000 人、累計参加社員数約 600 人で、全国各地で巡業している。



▲防災を学ぶ人形劇の様子

プロの劇団による防災を学ぶ人形劇で子どもの興味・関心を惹起する

- 人形劇は、30～40cm 程度の立体造型人形を使用し、操者が人形劇舞台上で隠れず演じる「出違い」と呼ばれる手法で演じられる。演目は三匹の子豚をアレンジした「さんびきのこぶた危機一髪！」一作品となっており、3 歳児から小学校中学年を対象だが、親子でも楽しめる。ストーリーは、1 番下の弟の家に逃げ込んだこぶたの 3 兄弟を、狼が大きな扇風機を使って台風を起こす、地震を起こす、大雨を降らせる、雷を落とす、竜巻を起こす、火事を起こすなど、様々な災害を起こし外に出そうとする。こぶたたちはそのたびに、机の下に隠れたり高いところに逃げたりライフジャケットを着用するなど、適切な防災行動でその災害をしのごう。

- 同社は名古屋ビル「人形劇場ひまわりホール」プロデューサーや演出家と相談し、同作品を製作した。NPO 法人プラス・アーツが監修として加わることで防災の専門的知見が補われている。同作品は、狼が引き起こす災害にこぶたの兄弟たちが慌てるたびに、1 番末の弟こぶたが「あわてない、あわてない」と繰り返し、慌てず行動することを、子どもたちに楽しく覚えてもらいたいとの思いで製作された。ひまわりホールを拠点として活動するプロの人形劇団ゆめみトランクが演じる。
- 体験型防災ワークショップでは、ジャッキや毛布など身の回りにある様々なものを活用して救助や応急等の緊急時の対応方法を学び、カードゲームを活用して防災知識を習得するなど、合計 6 種類のワークショップを行う。実際に身体を動かしながら防災について楽しく学ぶことができる。

3 取組の平時における利活用の状況

- 同プロジェクトは、防災教育の普及プログラムであり、同社は、平時から防災・減災について学び・体験する機会の提供を継続している。また、同グループは、全国で開催されている日本トップリーグ連携機構が主催する地域密着型のスポーツイベントに、特別イベントとして同プロジェクトを出展することで、全国での開催頻度を増やしている。

4 取組の国土強靱化の推進への効果

- 将来を担う子どもたちに、楽しく遊びながら防災・減災について学ぶことで防災に関心を持ってもらうとともに、防災知識の普及を通じ、地域・年代を問わずより多くの方に防災・減災について学ぶ機会をつくり、より強靱で持続可能な社会の実現に貢献している。

5 防災・減災以外の効果

- 同社は損害保険会社として、災害が発生した際の保険に関する対応はもとより、本業に親和性の高い「防災」をテーマとしたプログラムを展開することで、地域社会から信頼され、選ばれる会社となることにつなげている。

6 現状の課題・今後の展開など

- 今後も同プロジェクトを全国で数多く開催し、同社社員の防災／減災知識の習得を加速する。防災／減災知識の習得により、プロジェクト開催時だけでなく、本業である火災保険や地震保険などの保険販売においても、防災／減災活動の重要性を顧客に伝えることに取り組む。

7 周囲の声

- さんびきのこぶたをベースに、火事になったらどうするかといった内容の人形劇をこれまでに 3 年間で 50 ステージ上演したが、保護者の方から子どもが防災に関心を持つ良い機会となったとの声を多数頂いている。(連携団体)